

従業員の皆様へ

自分自身だけでなく、家族と一緒に働く方を風しんからまもるために、下記の対策をご検討ください。

1 女性は…

→妊娠前に風しんの予防接種をご検討ください。

※接種後2か月は避妊が必要です。
※2回の接種で、より確実に先天性風しん症候群を予防できます。

2 妊娠中の女性は…

→ご家族の方に風しんの予防接種を検討して貰ってください。

※妊婦は風しんの予防接種を受けることができません。
※妊娠中で予防接種を受けられない場合には、人混みを避けるなど、風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けてください。

3 成人男性は…

→以下をチェック！
□風しんにかかったことがない方
□風しんワクチンを受けていない方
□どちらも不明な方

該当する方は、風しんの予防接種をご検討ください。

※2回接種しても問題ありません。

風しん
流行中

今年の患者報告数は昨年の約30倍！

あなたの職場でも

風しん予防対策されていますか？

今、風しんにかかる患者のうち、働く年齢層の方が多くなっています。

最もよくないのは、妊婦を経由して、赤ちゃんが先天性風しん症候群になることです。

事業者の皆様へ

健康で安心な職場の環境整備のため、下記の対策をご検討ください。

1 従業員が予防接種のために医療機関などの受診を希望した場合には、ご配慮ください。

2 入社時などに、予防接種の記録の確認を本人に呼びかけるようにしてください。

3 職場での感染予防のため、風しんにかかった人の休暇についてご配慮ください。

4 従業員に対し、風しん抗体検査の機会を設けるようご配慮ください。



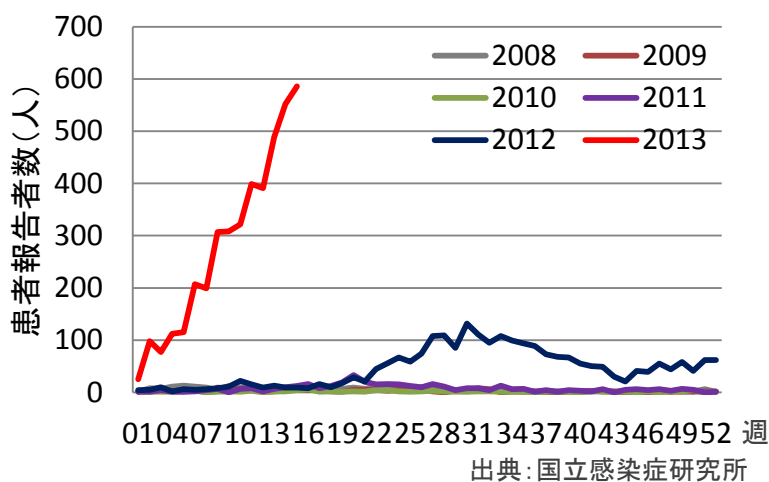
Question 1 なぜ職場で風しん予防対策が必要なの？

それは、今、風しんにかかる患者は働く層の方に多いからです。

- ✓ 全風しん患者の約70%が男性。そして、男性患者の約80%は20～40代と労働人口と重なります。
 - ✓ また、女性患者の約75%も10代後半～30代。
- ※2011年の国の調査によると、20代～40代の男性の約15%に風しんの免疫がなく、女性の約15%は風疹の免疫がないまたは、不十分であることがわかっています。

◎職場での風しん予防対策は、社会全体の風しん感染拡大防止にもつながりますので、予防のご理解、ご協力をお願い致します。

【風しんと報告された患者数】



Question 2 なぜ風しんにかかるとよくないの？

1番よくないのは、妊婦を経由して赤ちゃんが先天性風しん症候群になること。

- ✓ 妊娠した女性(とくに妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じるなどの障がい(先天性風しん症候群)を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

Question 3 そもそも風しんってどんな病気？

- ◆ 風しんウイルスが感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつります。
- ◆ 主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れ(3つの主な症状)が認められます。3つの症状がそろわない人も多く、感染しても症状がない人は約15～30%程度います。
- ◆ 通常は自然に治りますが、稀に脳炎になったり、血小板という血液の成分が減少して、皮膚に紫斑が現れる人もいます。関節が痛くなる人もいます。症状が出る前後の約1週間は、周りの人にうつす可能性があります。

Question 4 風しんにかかってしまったら？

- ◆ 勤務先と相談の上、感染を周りに広げないように自宅で休みましょう。
- ◆ やむを得ず外出する際には、マスクを着用し、できるだけ人混みを避けましょう。
- ◆ 風しんを疑う症状を認めたら、無理をして職場に行くことはやめ、医療機関に相談しましょう。

Question 5 予防接種を受けるには？

- ◆ 予防接種を受ける場合、麻しん対策の観点も考慮して、麻しん風しん混合ワクチンを接種することをお勧めしています。
- ◆ 予防接種の実施医療機関については、お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。

※妊娠期間中は予防接種を受けられません。